

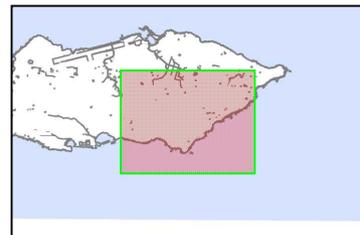
## 宇良部岳自然環境保全地域



指 定 : 昭和55年10月6日

位 置 : 八重山郡与那国町字宇良部、字帆安上原、字割目

面 積 : 215.25ha  
(特別地区46.98ha 普通地区168.27ha)



### (指定理由)

本地域は、宇良部岳(231.3m)を中心に、新川鼻にかけて発達する天然林(自然植生)である。

宇良部岳頂上から8合目に発達するウラジロガシ群落は、本県では沖縄本島の与那覇岳山頂と当該地のみ発達する希少な群落である。また、与那国島のウラジロガシは種の分布などから考えて、与那覇岳の種類とはその分布の起源を異にし、台湾と同一起源によるものと考えられ、生物地理学上貴重な種類と考えられている。

斜面のイタジイヤワラケガキ群落は、日本列島の常緑広葉樹林(ヤブツバキクラス域)の南限のイタジイ林として、琉球列島のイタジイ林を代表するリュウキュウアオキースダジイ(イタジイ)郡団の中でも、八重山群島の他の島々のイタジイ林からも区別され、与那国島固有のイタジイ林として識別された貴重な郡落である。

宇良部岳の山麓から新川鼻にかけての常緑樹林は、島に残っているリュウキュウガキーナガミボチョウジ郡団に属する唯一の低地林である。

更に新川鼻に続く低地帯はリュウキュウコクタンーフクギ郡落及びビロウアカハダグス郡落として、与那国島だけで識別できる島固有の海岸風衝林を成立させている。